

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 104

事務事業名	精霊流し対策事業
-------	----------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	市民環境部		
課名	環境保全課		
課長名	原 和彦	内線	178
担当者名	藏屋 靖	内線	142

基本目標		機能的で環境と調和したまち
政策	050403	環境にやさしいまちづくり
施策		ごみの減量化と適正処理の推進
関連施策		

会計	一般会計	
款	4	衛生費
項	1	保険衛生費
目	5	公害対策費
事業コード	040200	

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	誰(何)に対して事業を行うか 精霊流しに参加する市民		
意図	対象をどのような状態にしたいか 市内8地区に集積された精霊船等について、市が一括回収・処分することにより適正な廃棄物処理を行う。		
事業概要	意図を達成するために実施することは何か 市内各地区の町内会長会により運営されている精霊流し事業に対して、その運営費の一部に対し補助金を交付している。 また、各地区に集積された精霊船等の処理について、その回収・処分を専門業者に委託している。		
事業期間	年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営、委託
根拠法令、要綱等	大村市生活環境推進事業費補助金交付要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 集積場所	計画値	12	12	12	12	
		実績値	12	12	12		
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
成果指標	① 精霊船の処理量	計画値					
		実績値	kg	9,090	10,810	8,730	
		達成度	%				
成果指標	② 供物等の処理量	計画値					
		実績値	kg	9,500	9,410	8,820	
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	6,129	6,139	6,393	6,853	7,510	7,510	7,510	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	6,129	6,139	6,393	6,853	7,510	7,510	7,510	
② 人件費(千円)	1,661	1,597	1,515	1,574	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20				
時間外勤務(時間)	36	43	52	60				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	7,790	7,736	7,908	8,427				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	精霊船の小型化・減量化の推進や搬入場所・時間等の周知を図るため、広報紙やホームページに加え、大村市斎場に來られる方々に精霊流し協議会申し合わせ事項のチラシを配布し周知を図っている。また、集積箇所数が複数ある地区について、一元化に向けて検討を引き続きお願いした。
事業が抱える問題・課題等	精霊船の小型化・減量化の推進や集積箇所の見直しについては、引き続き推進する必要があるが、精霊流しは、故人の精霊を船に乗せ、極楽浄土へ送り出す長崎の伝統行事であり、地区毎の事情もあり、課題克服にも限界がある。 西大村地区の集積場所である浄水管理センターグラウンドが平成29年度から利用できなくなるため、現在、西大村地区町内会が適地を探している。 労務単価やリース単価等がここ数年上昇しており、経費の負担が増えてきている。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	古くから伝わる先祖供養のための行事であり、市民の思い入れや参加の意識が高いことから継続的な取り組みが必要がある。						
妥当性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	一夜限りの行事であり、市が関与して一括回収・処理をすることで、集積所周辺の環境保全を図っていく必要がある。						
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	実施主体は町内会長会であるが、集積所の精霊船等を迅速に処理し、環境保全を図るには現在の業務委託の方法しかない。						
有効性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	一括回収・処理を専門業者に委託して行うことにより、排出される廃棄物の適正処理推進が図られる。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	外的要因(死亡者数や精霊船の重量等)が推測できないため。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1~3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	精霊船の小型化・減量化の推進をするため、広報紙・ホームページ・チラシで周知をする。 集積箇所数が複数ある地区について、過去の実績を参考に集積箇所の一元化に向け問題点を調査する。 西大村地区の集積場所については、町内会、出張所と一緒に検討し、平成28年12月末までに決定する。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。